

公共事業新規評価の結果について

【維持系】

○新規事業概要 …P 1

○公共事業評価新規評価調書

1. 農地整備課 (基幹水利施設ストックマネジメント事業) …P4
2. 道路課 (道路保全事業) …P6
(道路防災事業) …P7
3. 河川砂防課 (河川保全事業) …P8
(危機管理ハード対策) …P9

県営基幹水利施設ストックマネジメント事業

事業の目的:

基幹的な農業水利施設について、施設の機能診断により策定された機能保全計画に基づく対策工事を実施し、既存施設の有効活用と長寿命化を図る。

整備前



整備後



道路事業(舗装補修)

【事業の目的】

舗装のクラックやわだち掘れにより、走行性の悪化など、車両の通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、舗装補修を行うことで交通の円滑化及び通行車両の安全性の向上を図る。

整備前



整備後



国道208号(佐賀市本庄町)

道路事業(道路防災)

【事業の目的】
法面のクラックや土砂崩壊、落石など、道路利用者の安全な通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、道路法面の防災対策を講じることで安全性の向上を図る。

整備前



松尾佐賀停車場線(小城市三日月町織島)

整備後



法面对策(法枠工)



川古平山上線(多久市西多久町板屋)



法面对策(ネット張工)

【維持系】 河川事業(県単独)

河川保全費

事業の目的: 一級河川の指定区間及び二級河川において、河川管理施設の適正な維持管理を行い治水機能の保持を図る。

○伐採系

堤防のクラックや異常を確認するするとともに、水の阻害や河川管理上支障がある草木の伐採



○浚渫系

河川流水の阻害となっている河道内堆積物の掘削除去



河川保全費

○堤防修繕系

堤防、護岸、魚道等の既設工作物の修繕および洪水時の被災防止のための空石積みや護岸の中抜け区間の整備



○河川管理施設修繕系

錆等で腐食した、水門、樋門、樋管、排水機場等の機能回復を図るための修繕



【維持系】総合流域防災事業

○危機管理型ハード対策

事業の目的: 一級河川の県管理区間または二級河川で堤防決壊が発生した場合、甚大な被害が想定される区間(重要水防区間)において、堤防天端の保護と堤防裏法尻の補強を行うことで、堤防決壊までの時間を引き延ばし、沿川住民の円滑な避難を図る

整備前



整備後



公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名	農林水産部	課名	農地整備課	事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
種別	基幹ストマネ	事業区分	更新・補修		

事業目的	<p>当該施設は県営地盤沈下対策事業により造成された排水機場である。しかし、造成後19年経過し施設の老朽化が著しく、装置・機器類の故障頻度が増加傾向にあるなど、補修・更新が必要な状況にある。</p> <p>令和2年度に作成した機能保全計画を計画的に実施するため、ポンプ及び原動機の補修や補器類の更新等の長寿命化対策を行い、排水機場の機能を維持し地域農業の持続的な発展に貢献する。</p>
------	---

定性評価	自然環境保全	水換えを伴う整備は計画していないため、淡水魚の生息空間や生息環境が確保されと考えられる。
	生活環境対策	工事に使用する建設重機については、排出ガス対策型を使用し、発電機等においても低騒音型を用いる。
	コスト縮減策	施設の長寿命化とし策定している機能保全計画に基づき、施設を適期に更新補修する対策工事であるためコスト縮減が図られている。
	その他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	評価視点:位置付け										評価視点:必要性・効果										評価視点:実施環境						判断									
		市町村名	大字等			評価指標:計画の策定状況		評価指標:健全度評価				評価指標:防災効果 (防災効果の高い施設)		点数計	評価指標:費用対効果 (B/C)		評価指標:施設の劣化状況 (施設造成後の経過年数)				評価指標:施設の影響度				点数計	評価指標:事業推進状況		評価指標:管理の実施状況					点数計								
						機能保全計画が策定され、対策内容、時期ともにおおむね計画どおりである。	機能保全計画が策定されていない。若しくは、機能保全計画が策定されているが、対策内容、時期が計画と異なる。	点数		S-1	S-2	S-3	S-4 S-5		点数	該当あり	該当なし	点数	費用対効果(B/C)が1.0以上	点数	標準耐用年数より10年以上経過している	標準耐用年数を経過している	標準耐用年数の半分を経過している	標準耐用年数の半分を経過していない		点数	受益面積が500ha以上	受益面積が200ha以上	受益面積が200ha未満	点数	点数計			関係市町の同意が得られ、受益者の大部分の同意が得られる。若しくは土地改良区の総会又は総代会において事業実施に関する議決が得られている。	点数	毎年、定期的に点検・整備を実施している	数年に1回程度、点検・整備を実施している	異常時に点検・整備を実施している	点検・整備を実施していない	点数	
1	下大町	大町町	大町	157.5	R7	50		50				10		10	20			20	80	50	50		20				20		0	0	70	50	50	50				50	100	A B A	I

公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名	農林水産部	課名	農地整備課	事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
種別	基幹ストマネ	事業区分	更新・補修		

事業目的	<p>当該施設は県営地盤沈下対策事業により造成された排水機場である。しかし、造成後16年経過し施設の老朽化が著しく、装置・機器類の故障頻度が増加傾向にあるなど、補修・更新が必要な状況にある。</p> <p>令和2年度に作成した機能保全計画を計画的に実施するため、ポンプ及び原動機の補修や補器類の更新等の長寿命化対策を行い、排水機場の機能を維持し地域農業の持続的な発展に貢献する。</p>
------	---

定性評価	自然環境保全	遊水池内の水換えを行う場合は、水生生物の避難をさせるなど自然環境に配慮した工事を行う。
	生活環境対策	工事に使用する建設重機については、排出ガス対策型を使用し、発電機等においても低騒音型を用いる。
	コスト縮減策	施設の長寿命化とし策定している機能保全計画に基づき、施設を適期に更新補修する対策工事であるためコスト縮減が図られている。
	その他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	評価視点:位置付け										評価視点:必要性・効果										評価視点:実施環境						判断										
		市町村名	大字等			評価指標:計画の策定状況		評価指標:健全度評価				評価指標:防災効果 (防災効果の高い施設)		点数計	評価指標:費用対効果 (B/C)		評価指標:施設の劣化状況 (施設造成後の経過年数)				評価指標:施設の影響度				点数計	評価指標:事業推進状況		評価指標:管理の実施状況					点数計									
						機能保全計画が策定され、対策内容、時期ともにおおむね計画どおりである。	機能保全計画が策定されていない。 若しくは、機能保全計画が策定されているが、対策内容、時期が計画と異なる。	点数		S-1	S-2	S-3	S-4 S-5		点数	該当あり	該当なし	点数	費用対効果(B/C)が1.0以上	点数	標準耐用年数より10年以上経過している	標準耐用年数を経過している	標準耐用年数の半分を経過している	標準耐用年数の半分を経過していない		点数	受益面積が500ha以上	受益面積が200ha以上	受益面積が200ha未満	点数	点数計			関係市町の同意が得られ、受益者の大部分の同意が得られる。 若しくは土地改良区の総会又は総代会において事業実施に関する議決が得られている。	点数	毎年、定期的に点検・整備を実施している	数年に1回程度、点検・整備を実施している	異常時に点検・整備を実施している	点検・整備を実施していない	点数		
1	新明	白石町	新明	168.0	R7	50		50				10			10	20			20	80	50	50		20			20	20			20	90	50	50	50				50	100	A A A	I

公共事業新規評価調書（維持系）

本部・部名	県土整備部	課名	河川砂防課	事業名	総合流域防災事業
種別	河川	事業区分	維持管理		

事業目的	個々の事業規模が小さい等から個別箇所ごとの予算管理を行う必要性が低い事業について、流域単位を原則として、包括的に水害・土砂災害対策の施設整備等及び災害関連情報の提供等のソフト対策を実施し、豪雨災害時に対し流域一体となった総合的な防災対策を推進する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト削減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	その他	

新規・継続区分	事務所名	箇所番号	水系名	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 (百万円)	事業概要	評価視点：位置付け														評価視点：必要性・効果										評価	判断																
					市町名	大字等			評価指標：危険度判定（重要水防区分間）				評価指標：危険度判定（堤防の危険度）				評価指標：危険度判定（流下能力（堤防高））				評価指標：浸水想定区域内の被害規模（浸水戸数、浸水面積）				評価指標：近年の出水状況				評価指標：想定被害区域の状況（土地の利用状況）						評価指標：想定被害区域の状況（公共施設の数）		評価指標：地元関係者の協力・要望													
									整備対象区間が重要水防区分内である	整備対象区間が重要水防区分外である。（浸水範囲に家屋有り）	整備対象区間が重要水防区分外である。（浸水範囲に家屋無し）	小計	（堤防天端高-背後地盤高さ）が1.0m以上	（堤防天端高-背後地盤高さ）が0.0~1.0m未満	（堤防天端高-背後地盤高さ）が0.0m未満	小計	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防高を越える	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防高と同等	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防高を超過しない	小計	家屋が20戸以上又は面積が20ha以上	家屋が5~20戸未満又は面積が5~20ha未満	家屋が1~5戸未満又は面積が1~5ha未満	家屋無し又は面積が1ha未満	小計	過去10年間で氾濫危険水位相当以上の水位を観測した実績がある	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がある	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がない	小計	計	人家連担区域である	背後地に家屋等がある			農地等がある	山付である	小計	あり	なし	小計	地元の要望があり	工事に対し協力的である	工事に対し非協力的である	小計	計					
新規	佐賀	六角川	晴気川	小城市	小城町池上他	330.0	危機管理型ハード対策	L=3.3km	60			60	20			20	20			20	100	60					60	40			40	100		50				50	20		20		10		10	80	A	A	A	I